

1826

2012・6/10

# 大阪教育

発行・大阪教職員組合  
〒543-0021 大阪市天王  
寺区東高津町7-11  
大阪府教育会館7F  
TEL 06-6768-2330  
FAX 06-6768-2239  
daikyoso@daikyoso.jp  
毎月10日発行/1部30円  
(組合員は組合費に含む)  
編集発行人・田中康寛  
印刷・関西共同印刷所

## 府労組連夏季闘争

6月12日(火) 18時45分

第1次決起集会 府庁正面玄関前

6月18日(月) 16時30分

第2次決起集会 大阪城公園教育塔前

## 大教組 第184回 定期大会

# つながり(大)きく(く) 1000人拡大めざそう!

# 憲法をたたかいたたかいたちのちからに

大教組は5月26日、府社会福祉会館において第184回定期大会を開催。12年度運動方針案などの議案が圧倒的多数の賛成で可決されました。20人が討論に参加、「2条例反対」のたたかい、組織拡大のとりくみや多彩な経験と教訓が語られ、とりわけ青年の活動の広がりが明るい未来を感じさせました。

### 大きく広がるたたかい

大会挨拶にたった田中康寛大教組中央執行委員長は「2条例」の撤回、具体化を許さないたたか

いについて、府内50以上の行政区に条例制定に反対する地域連絡会ができるなど、大きく広がるたたかいたちの共同と反対世論にしっかりと確信を持

ち、府条例の撤回に向けさらなるとりくみを呼びかけました。

### 憲法と教育の条理

「2条例」はあくまで条例であり、上位にある法律、さらには憲法に違反することはできません。子ども、父母とともに長年にわたり積み上げてきた、教育の営みはた

やすく崩せるものではなく、また教育の条理に反する教育政策は必ず破綻します。たたかいを支える根本の力は「全ての子どもの成長と発達」を求める父母・国民の切実な願いです。この願いは「2条例」がねらう強制と競争、切り捨ての教育とは全く正反対のもの。「維新の会」が国政へ進出すればするほど、国民

### 組織拡大の大飛躍を

激動する情勢のなかで、青年の意識は変化し、組合への期待が高まっており、声を掛け合う

### 府・市一緒に力あわせて

また、大会には大井敬雅府PTA協議会会長が来賓として参加し、「学

職場からの組合員拡大がますます重要で、きびしい情勢は、追い込まれた中での厳しさではな

校現場で努力する先生方のがんばりを私たちは見ている。また「市PTAの会長と子どもたちのために何ができるか一緒に考えていこう」と話していま



枚方



## 怒り広がる橋下・「改革プラン」 2・3面 関連記事

橋下大阪市長が導入をもうむ学校選択制について、5月末までに大阪市内のすべての行政区で「学校教育フォーラム」が開催されました。「学校選択制導入で、子どもがなくなつた学校を統廃合することを考えているのでは」「地域との連携が希薄になる」「親は、学校選択制による特色(へい)など望んでいない」などの行政区でも参加者から批判や疑問の声が噴出しています。

## 地域から見放された「学校選択制」



「市政改革プラン(素案)」に怒る市民集会

し、実施している東京都江東区・杉並区をはじめ多くの自治体でも見直されつつあります。

地域住民や保護者の意向を尊重せず、強権的に学校選択制を強行しようとする橋下市長に対し、

### 疑問・批判噴出 「学校教育フォーラム」



中川美佳さん (生野区在住)

「学校の廃校につながる危険があるのでは。どこで決めるのか?これは実験ではない!慎重に!」子どもが支援学級、環境づくりに入学の1年以上前から小学校と連携。順調な生活が選択制によって壊されるのではと大きな不安。配慮が必要でないままだった。

意のない学校選択制を許さない世論を広げていきましよう。

子どもたちのことも考えて「導入の目的が、学校を選べること、言葉の説明のみで、選択制によって何が起るのかかわからない!」「選ぶのか?」「選ばないのか?」を親が「選ぶ」。結果、責任は「親!そこに不安を感じる」などの質問があったが、答弁は「まだ何も決まっていない、これから『熟議で論議』参加者は「いったい何のためなの、誰のためのフォーラムだったのか」腑に落ちないままだった。

## 湧水

4割の教師が「宿題を出すことが増えた」と答え、6割が「疲れている児童が増えた」

。全教加盟の全北海道教組が実施した「新学習指導要領本格実施に伴うアンケート調査」結果である。自由記述欄は「教科書の内容が多すぎ」「授業進度の遅れる」「授業進度の遅れる」「早朝に登校し宿題をする子」「学習意欲の低下」「疲労感が大きい」などの実態で埋められている▼教科書の分量が全体で3分の1も増えれば当然の帰結である。先日、学童保育の指導員と懇談する機会があった。「たたいま」と学童に着いたとたん元気に外で遊ぶ姿が減って、宿題をする子どもが増え、ストレスを溜め込んでいくという。いじめやいじめを苦にした自殺、不登校、「学級崩壊」が急増した90年代を想起する。「子どもの発達を歪める競争教育を止めよ」という3度にわたる国連勧告を黙殺するといふのだから▼ルソーは、『自然は子どもが大人になる前に、子どもであることを望む、この順序をひっくり返すと成熟しない、味わいもないすぐに腐る促成の果実を結ばせることになる』と言った。数百年の時間を超えた今日の事態への鋭い警告である。(CS)